

縄南中通信



平成28年 2月 1日 発行

2015年度 第10号

「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」

東大阪市立縄手南中学校

校長 日比野功

教育活動の重点キーワード

「縄南道」の形成、「心・技・体」の研鑽

「人格形成」による学習規律は学力向上の必要不可欠条件！

先日、1月13日（水）に本校で平成28年度新入生説明会を開催させていただきました。新入生説明会では毎年、本校の教育活動は「人格形成」であることをお伝えさせていただいています。その趣旨は、二十歳の成人式を迎えた時に、きちんとした態度で当たり前のことを当たり前に実行できる大人になって欲しいということから、例えば人の話はきちんと聞き、会場を出る時には、自分たちの成人式のために何度も何度も打ち合わせをし、会場を設営し、当日のいろいろな役割を担っておられる多くの顔も知らない方々に対して、せめて「ありがとうございました。」の一言くらいは言える二十歳に成長して欲しいという思いで、日々の教育活動を実践していることをお伝えしています。

縄手南中学校では今年度、教育委員会の事業を受け縄手南小学校、縄手南幼稚園と共に幼小中連携に重点を置いてきました。今年度4月当初に中学校、小学校、幼稚園の先生の合同の会議を持ち、二十歳の成人式の時に当たり前のことを当たり前でできる人として育つためには、中学校区全体で、中学校ではどのようなことにこだわるのか、小学校のそれぞれの年齢にあわせてはどのようなことにこだわるのか、また、幼稚園の園児の教育活動に関してもどのようにこだわるのか、そして学校園として保護者や地域にもどのように教育活動を理解していただくのかということを中心に、学力向上の面においても専門分野的な視点を取り入れながら、「人格形成」と「学力向上」を両輪とし、それぞれの活動を融合させた教育活動を展開しようと取り組んできました。

縄手南中学校の特色ある取り組みの1つとして、アドバイザースタッフの活用、縄南道集会へのその道のトップレベルである講師の招聘がありますが、大切なことは、生徒自身がそもそも、その方々のお話を聞ける体制ができているか、意識を高く持っているかということです。そうでなければ、多くの方々に来ていただいても単なるイベントに終わってしまったりして教育活動にはほど遠い結果となります。また、生徒自身の意識が高くなければわざわざ本校に来ていただけないでしょう。縄手南中学校に来られた方々は、皆さん、生徒の話聞く様子に関心していただき、予定していたことを越えたお話も話していただいています。

授業も同じで、本校では「英語村」という教育委員会からの派遣で特別に5人のALTを一同に招き、本校のクリス先生と1つの教室に6人の外国語講師を活用するといった授業も7回実施しました。その時にオールイングリッシュの指示に生徒が反応し、積極的に会話し活動するといった様子が見られました。これも静かになるのに時間がかかりすぎない、人の話をきちんと聞くことができる、指示には素早く行動できるといったことが習慣となってきたからこそ、授業中にオールイングリッシュの指示を聞き取ることができるという訓練が少しずつ成されてきた結果です。これももし、いつまでもざわざわしている、また、1つ1つ注意をしなければならぬ、そもそもやる気が

ないといった集団の状態であれば、損得で言えばかなり損をしてしまっていることとなります。1月25日（月）の朝はとても冷え込み、体育館はとても冷えた状態でしたが、この日の全校集会でも生徒は普段通りにきちっとした様子で取り組んでいました。このような状態がいつも保てるということは集団としての何らかのスキルが少し蓄えられてきた成果であると生徒に伝えました。

東大阪市教育委員の方々の学校訪問がありました。

1月19日（火）、東大阪市より教育委員の方々の学校訪問がありました。教育長を含む東大阪市教育委員5名と、教育次長、学校教育推進室長をはじめ教育委員会から6名、計11名の方々が訪問されました。縄手南中学校の教育活動は「人格形成」を柱とした「心・技・体の研鑽」であり、日本一を目ざし「返事！あいさつ！声！ダッシュ！！」をモットーとして取り組んでいますので、日頃、生徒諸君に伝えたり、保護者や地域の皆様にお話ししていることを伝えさせていただきました。加えて本校の教育活動の特色であるアドバイザースタッフの活用について、また、講師を招聘した縄南道集会の意義やねらいについてもお話しさせていただきました。

乾龍介さんによる国語授業での原稿読み指導

また、この日は5時間目にアドバイザースタッフの乾龍介さんの指導による「ニュース原稿を読む」という授業を1年生国語科で実施しました。授業では原稿を読む声の大きさや、文字や文章を見て与えられた原稿をどれくらいの速さで読めばわかりやすく伝わるのか、時間はどれくらいかかるのか、また、実際のアナウンサーはどのようなことに注意をしながら読んでいるのか等を聞かさせていただきました。またこの日に乾龍介さんの指導を受けることのできなかったクラスは、後日、同じくアドバイザースタッフの竹中淳子さんの指導により同様の内容の授業を受けました。文字を言葉にして表現するという力や、人にわかりやすく伝えるためにはどのようなことに気をつければよいのか等というスキルは、将来とても役に立つことでありますので、この授業で学んだことを生かして、授業での発表や委員会活動、行事での発表など、いろいろなことに挑戦して欲しいと思っています



本校アドバイザースタッフ元朝日放送アナウンサー乾龍介さんによる国語授業

全学年「箏曲（そうきょく）」授業を受けました。

さらにこの日は、全学年が大阪音楽大学から小牧万須美先生をお招きし、学年単位で4時間目、5時間目、6時間目とそれぞれ「箏曲」の授業を受けました。授業でも学習している日本の伝統楽器の1つである「箏（こと）」についての紹介や、日頃なじみのある楽譜とは違った箏独自の楽譜についての知識も伝えていただき、その後、実際に「箏」だけの演奏や他の楽器とコラボした演奏を聞かせていただきました。つい2週間あまり前のお正月にいろいろな所で聞いた箏の音色を実際の演奏で聞く機会が持て、どことなく幻想的で日本の文化や伝統の良さを感じることができました。



「箏曲」授業、写真は「箏」と「オーボエ」のコラボ演奏の場面

クラブ等の主な記録

女子バスケット 第5回浅香山カップ 準優勝